

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道167号 ^{うかたいそべ} 鵜方磯部バイパス	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：三重県
起終点 ：自：三重県志摩市阿児町金谷 ^{かたや} 至：三重県志摩市磯部町恵利原 ^{いそべ えりはら}	延長 ：8.2 km	
事業概要 ：一般国道167号は、三重県志摩市を起点として三重県伊勢市に至る延長約27kmの幹線道路です。鵜方磯部バイパスは、現国道167号の渋滞の解消と、観光業などの産業及び社会活動の振興に寄与すべく事業化されました。全体計画としましては、4車線道路で計画していますが、事業効果の早期発現のため暫定2車線で整備を進めています。		
S61年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	S62年度用地着手
		S62年度工事着手
全体事業費	133億円	事業進捗率
		74%
		供用済延長
		4.2km
計画交通量 ：9,700台/日		
費用対効果 分析結果	B/C ：(事業全体) 1.6 (残事業) 3.9	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 30/175億円 事業費 ：28/169億円 維持管理費 ：2/6億円
		総便益 ：(残事業)/(事業全体) 118/277億円 走行時間短縮便益 ：107/244億円 走行費用減少便益 ：8/25億円 交通事故減少便益 ：3/8億円
		基準年 ：平成17年
事業の効果等 ： <ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの構築・・・日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる ・個性ある地域の形成・・・観光地へのアクセス向上が期待される 他7項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 ：伊勢・志摩連絡道路建設促進同盟会が結成されており、当該事業の早期完成を強く要望されています。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ：伊勢志摩地域の観光入り込み客数は減少傾向にありますが、平成17年2月には中部新国際空港が開港するなど、観光形態にも変化がみられ、利便性・快適性の向上は観光地の大きなメリットとなります。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ：これまでに74%の進捗が図られており、旧磯部町における集落内通過交通をバイパスさせるべく整備を実施し、4,210mが供用し、事業効果を発現しています。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ：工区内に橋梁が5橋、トンネルが1基など構造物が多く、事業延長も8.2kmと長いことが事業進捗の障害となっています。平成25年の伊勢神宮第62回式年遷宮に間に合うよう平成24年度の全線供用に向けて事業を促進しています。		
施設の構造や工法の変更等 ：特にありません。		
対応方針		
対応方針決定の理由 ：以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		